

2022年5月27日

株主の皆様へ

双日株式会社

第19回定時株主総会「第3号議案 取締役8名選任の件」に関する補足説明

2022年6月17日開催予定の第19回定時株主総会に付議する「第3号議案 取締役8名選任の件」の候補者である朱 殷卿氏につきまして、Institutional Shareholder Services, Inc. (以下「ISS」という)より、独立性に問題がある (Affiliated Outsider) との判断が示されました。

当社といたしましては、ISSの判断は実態を踏まえているものでなく、当社の認識と相違いたしますので、当社の見解について以下の通り補足説明いたします。

株主の皆様には、ご理解いただき、ご賛同のほど、よろしくお願い申し上げます。

記

【候補者番号7 朱 殷卿氏について】

ISSによる非独立 (Affiliated Outsider) との判断に対する当社見解

ISSは、朱氏が当社の大株主10位 (2022年3月31日現在、持株比率1.11%) であるJPモルガン証券株式会社 (以下「JPモルガン証券」という) に在籍していたことのみをもって独立性がないとの判断を示しています。

当社といたしましては、朱氏がJPモルガン証券の退職後約15年が経過しており独立性に問題はないと考えます。一方、ISSは、退職後一定期間の経過による利害関係の消滅、いわゆる「クーリングオフ期間」の考え方を適切に考慮していないと考えます。

また、JPモルガン証券による当社株式保有は、証券会社が提供するいわゆる「貸株サービス」等による保有も含まれていると考えられ、当社との関係性に基づくものでも、また議決権行使による経営権への影響を企図した保有でもないと認識しております。

退職後の一定期間の経過や、実質的な保有目的を考慮せずに、大株主である組織に在籍していたことのみをもって一律に独立性を否定することは、金融機関における企業経営者としての豊富な経験や人脈を有する独立社外取締役の活用を妨げることに繋がる点で合理的ではないと考えます。

朱 殷卿氏を社外取締役候補者とした理由及び期待される役割

朱氏は、JPモルガン証券、メリルリンチ日本証券で要職を歴任し、M&A戦略や財務・資本政策に関する見識、金融機関における企業経営者としての豊富な経験、及び人脈を有しております。当社が持続的な成長に向けて戦略的な事業投資を推進していく中で、同氏の持つ経験と専門性を活かし、当社取締役会において的確な提言をいただいております。

独立した立場と客観的な視点から、経営に対する適切な監督機能を発揮いただき、当社グループのさらなる発展と企業価値向上に貢献いただくことを期待し、候補者として選任しております。

以上